

開講科目名 / Course	精神看護学概論	
ターム・学期 / Term・Semester	2025年度 / Academic Year 2 学期 / Second	
開講区分 / semester offered	2 学期 / Second	
単位数 / Credits	1.0	
学年 / Year	2	
主担当教員 / Main Instructor	影山 隆之	
担当教員名 / Instructor	影山 隆之	
必修・選択 / compulsory subject	必修	
講義形態 / Class Type	講義	
授業回数	8	
科目の目的と概要	生物 - 心理 - 社会的存在としての人間の健康を、主に心理社会的側面から理解するために必要な視点と基礎知識を学ぶ。これらの視点と知識は、心の健康についてのアセスメントに必須である。その際に、精神看護の歴史的反省をふまえ、かつ当事者支援におけるリカバリーを最優先で考えることが必要なので、これらの背景についても学ぶ。	
到達目標	1. 健康日本21における心の健康の概念を、国際生活機能分類およびリカバリーの概念と関連付けて説明できる。 2. 心の健康を、心の発達・精神力動、家族、ストレス、悲嘆、危機という観点から説明できる。 3. 心の機能と関連付けて、主な精神症状を説明できる。 4. 現代の精神保健医療福祉が目指すことを、日本の精神医療史における人権問題をふまえつつ、一次・二次・三次予防の観点から説明できる。	
DPとの対応	1.心豊かな人間性・倫理観、2.科学的思考力、3.看護の基盤となる専門知識・技能、5.地域性・国際性	
授業計画	01. 健康な心の成り立ち 02. 精神力動と防衛機制 03. 心の発達と家族 04. ストレスと悲嘆・危機 05. 心の機能と精神症状 06. 主な精神障害(mental disorders) 07. 精神保健医療福祉の歴史と現在のしくみ 08. 現代社会と心の健康・自殺予防	
その他の授業の工夫	購入テキストの重点箇所について、印刷冊子を別途配布し、資料中の質問について授業中に討論する。 出席確認を兼ねて毎回、質問・感想等のリアクションをGoogleフォームから提出する。回答やコメントは学内ウェブを通じて速やかに公開する。	
時間外学修	事前学習：事前配布する印刷冊子を読み、発問がある場合にはあらかじめ各自で考えておく。(12h) 事後学習：各自の受講のまとめとして感想・質問を投稿する。印刷資料と購入テキストの関係を授業後に確認し、後日の振り返りに備える。(12h)	
評価方法と評価割合	リアクションから評価する積極的参加度10%、最終筆記試験90%	
テキスト	精神看護学1 精神看護学概論/精神保健(メヂカルフレンド社)	
参考書	学内ウェブにリストを掲載する。	
履修する上で必要な要件	前学期までの人間心理学関係の単位を取得していること。	
その他	リアクションは授業日の21時までに入力すること。	
教員の実務経験	有・無	有
	内容	影山隆之：離島の病院の精神科における訪問診療、予備校相談室のカウンセラー、いのちの電話の研修委員
教員以外で指導に関わる者の実務経験	有・無	無
	内容	
実務経験をいかした教育内容	地域精神保健福祉と医療の接続について双方の視点から授業する。	